

Ⓣ

中村芳平

外食ウォーズ

番外編



ダイオーズ（東京都港区）社長の大久保真一氏（73）は日本におけるオフィスコーヒーサービス（OCS）の先駆者である。オフィス向けのレギュラーコーヒーマシンを開発、1977年から事業化し、現在は直営店、FC特約店で121拠点10万社以上の顧客を獲得。各種オフィスサービスを展開している。大久保氏は77年に全米OCS協会の国際正会員に加盟、本場米国に逆上陸するのが夢であった。

米オフィスコーヒー市場に逆上陸 年商1億ドル突破、年10%成長続く

ダイオーズのUSA本社、
円内は大久保真一社長



ダイオーズ大久保真一社長

で成功しているをを広げることになりました。00万ドル（約4億円）の会点（営業所・配送センター）を持ってまでに発展させたい」と。

「88年にロサンゼルスで、大久保氏は「地域ナンバ1戦略」をとった。まず人の社員がいますが日本人地区で1番には1人もいません。マネジ

「88年にロサンゼルスで、大久保氏は「地域ナンバ1戦略」をとった。まず人の社員がいますが日本人地区で1番には1人もいません。マネジ

「88年にロサンゼルスで、大久保氏は「地域ナンバ1戦略」をとった。まず人の社員がいますが日本人地区で1番には1人もいません。マネジ

ダイオーズ就き、次に地域で1番、その次にカリフォルニア州で1番、その次に西海

「2006年にシカゴ、デトロイトに進出するとき、その地区のナンバ1を買収し、それをテコにドミナント展開していきま

「2006年にシカゴ、デトロイトに進出するとき、その地区のナンバ1を買収し、それをテコにドミナント展開していきま

「2006年にシカゴ、デトロイトに進出するとき、その地区のナンバ1を買収し、それをテコにドミナント展開していきま